焼津市 認知症地域支援推進員 通信

おむすび通心

第8号
2023年 春

皆さん、こんにちは！
私たちは、焼津市の認知症地域支援推進員です。
焼津市には、認知症疾患医療センターが2か所あることをご存じでしょうか？おむすび通心第5号では、その一つである地域型認知症疾患医療センターの焼津市立総合病院を取り上げました。
今回は、連携型認知症疾患医療センターやきつべの径診療所（中里）院長の夏苅直己医師にインタビューしてきました。
連携型認知症疾患医療センターは、地域の連携先医療機関（多職種、多施設との協働）による「認知症診療」を個人でも、主治医からの紹介でも小回りが利く体制を目指して設置されています。

【連携先医療機関】
① 焼津市立総合病院
② 焼津病院
③ 藤枝駿府病院
④ 甲賀病院
⑤ 岡本石井病院

(医)峻凌会やきつべの径診療所

連携型認知症疾患医療センター

夏苅医師と安江看護師

【夏苅医師から皆様へ伝えたいこと】

「あの人、認知症」という言い方をよく耳にしますが、認知症がその人の全てではありません。
「認知症を患っている人」という認識が必要です。
誤解や偏見をなくし、適切な対応が必要です。
ご本人の声に耳を傾けてください。

【夏苅医師が診療の中で感じること、心掛けていること】

日々、学びです。全部が臨床、全部が学びです。
認知症の症状が酷いと、家族は施設入所を希望するケースがあります。認知症を患っていても、本人の意向を確認して尊重していきたいと思います。
独居であれば、様々な心配があると思いますが『まずは本人が、どこでどう暮らしたいのか』本人抜きの決定にならないように、本人への意思決定支援は大きな課題と考えています。
なるべく地域に出て、地域の人との連携をしていきたいと考えています。

【編集後記】
今回、やきつべの径診療所夏苅医師からお話を伺いました。患者本人の想いに寄り添うことを第一とした先生の姿勢を知ることができ、私自身も大変、勉強になりました。これからも皆様のお役に立てる情報をお伝えしていきたいです。

【発行先】焼津市各地域包括支援センター
（北部・中部・南部・大井川）認知症地域支援推進員
第8号編集／焼津市・中部

認知症本人ミーティング　『ちょっくら話そう会』

3月3日、ひな祭りのこの日。ぽかぽかとした陽気の中で、認知症本人ミーティングが開催されました。会場は、『中華料理店珉珉（みんみん）』です。

今回は3名の当事者とご家族が参加されました。ちょっと遅いランチをといった感じで「おいしいものが食べたい。何にしようかな」「餃子もおいしそう」と、メニュー表とにらめっこしてました。自己紹介が終わる頃、熱々のラーメン、餃子ができあがり、自己紹介で聞いたことを色々と話しながら、楽しい時間をすごしました。お腹がいっぱいになると、マジシャンのマギー曇さんが、みんなでできるマジックを教えてくれました。マジックは指先を使いながら、話し考えるので、認知症予防にも効果があるそうです。

帰り際「またみんなで会いたいね」「また美味しいもの食べに行こうね」という言葉が聞かれました。

本人ミーティングの様子

チームオレンジコーディネーターよりじんむ市に参加しています！！

今年度は12月、2月、3月と『御菓子司角屋』さんのご厚意でじんむ市に参加しました。じんむ市では、認知症に関するチラシの配布や相談などを行っています。普段は相談に行くなんて、なかなかできないと思っている方も、じんむ市でちょっとぶらぶらしながら、お買い物して、ちょうど良い所に認知症ブースが・・・なんて、話しやすい感じがします。認知症のことに限らず、気になることなどお話してみてください。ブースにいるのは、介護、福祉、医療の専門職の方々です。明るい雰囲気の中で話す事で、気持ちが楽になるかもしれません。

2月は、子ども達と一緒に『認知症よくわかるた』を行いました。皆さんが気軽に立ち寄れる場所となるよう、これからも続けていきたいと思います。

望月コーディネーター

じんむ市の様子

連携型認知症疾患医療センターのご案内

峻凌会やきつべの径診療所

◎場所　やきつべの径診療所外来受付
焼津市中里162番地

◎院長　夏苅直己医師

◎要予約　電話予約が必要
紹介状のあることが望ましいですが、なくても構いません。
Fax TEL　054（620）3103
054（620）3178

◎初診　月・火・木・金
午前10時30分から1名
時間に余裕を持って、お越し下さい。

◎方針　かかりつけ医・薬剤師・歯科医・地域包括支援センター・ケアマネジャー等多職種連携の中で、連携病院の支援を受けて活動していきます。